

デザインで世界を変えよう！

世界の学生を対象に、SDGsにデザインで取り組む
コンペティションを開催します。



SDGs Design International Awards 2019

人類の課題を解決するために、貢献できることがある！

人類がこのままの生活を続けると、2050年には地球が3つ必要になると言われています。そうした事態を防ぐために若い世代の人たちがデザインやクリエイティブで貢献できることがある。そんな強い思いからこのアワードを開催することに至りました。

デザインに関心のある世界中の学生から世界を救う“デザイン”を募り、優れた解決方法を世界に示すSDGs Design International Awards 2019を開催します。

複雑な社会問題の解決にチャレンジする若い世代からの応募をお待ちしています。

1次審査締切：2019年10月31日 | 最終審査プレゼンテーション・授賞式：2020年3月14日

詳細はこちらから <https://www.sdgs.design.kyushu-u.ac.jp/awards/>



主催 | 九州大学大学院芸術工学研究院 SDGsデザインユニット、九州大学未来デザイン学センター

共催 | 九州しあわせ共創ラボ(博報堂九州支社)、朝日新聞社、西日本新聞社

協賛 | 西部ガス株式会社、学校法人双葉学園福岡デザイン専門学校、株式会社三好不動産 他

後援 | 九州経済産業局、九州経済連合会、九州経済調査協会、福岡地域戦略推進協議会(FDC) 他

お問い合わせ 九州大学大学院芸術工学研究院内 SDGsデザインユニット事務局 815-8540 福岡市南区塩原4-9-1 TEL 092-553-9461

本アワードはアワードの趣旨にご賛同いただける協賛企業を募集しています。

協賛についてのお問合せはこちらまで ▶ 九州しあわせ共創ラボ(博報堂九州支社) 担当:松本
Tel 092-263-4581 Mail : yusuke.b.matsumoto@hakuodo.co.jp

募集テーマ

A,B,Cいずれかのテーマに沿ったデザインを、企画書(所定のフォーマット)にまとめて、WEBサイトの応募フォームからご応募ください。フォーマットはサイト内にある「応募する」ボタンからダウンロードできます。
※1次審査を通過した企画書は本WEBサイトにて公開いたします。

A



自然災害による被害の対策につながるデザイン

日本では、台風や梅雨期の豪雨による河川の氾濫、高潮被害、土砂災害など自然災害が頻発していますが、こうした災害は世界の多くの地域で発生している問題です。世界でその対策を講じる必要があります。そうした理由から、ここでは台風や豪雨のような自然災害による被害の対策につながるデザインを募集します。

B



美しい海の豊かさを守るためのデザイン

世界の海はつながっています。そのため、近くの海の汚染が地球の裏側にも広がります。プラスチックなどの漂着ごみの被害や赤潮の発生による海の汚染、漁業被害が深刻化している中で、海の豊かさを守り、長期にわたって美しい海と資源が守られるようなデザインを募集します。

C



国籍、民族、年齢を超えて多様な人が共生するためのデザイン

ダイバーシティや女性や高齢者の社会参画は、国や地域に関係なくこれからの社会の活性化のために必要不可欠な課題です。年齢、性別、障がい、人種、民族、あるいは経済的地位やその他の状況に関わらず、多様なわれわれが、安全で平等、そして幸福な社会を共に築くためのデザインを募集します。

スケジュール

- 1次審査 応募期間……………2019年6月1日～2019年10月31日
- 1次審査 結果発表……………2019年11月末(予定)
- 2次審査 応募期間……………2019年12月上旬～2019年12月下旬(予定)
- 2次審査 結果発表(5名選出) ……2020年1月下旬(予定)
- 最終審査プレゼンテーション・授賞式…2020年3月14日

賞 金

- 最優秀賞 1組 30万円
- 準優秀賞 1組 20万円
- 優秀賞 1組 10万円
- 特別奨励賞 2組 5万円

審査員



[審査員長]
平井 康之
九州大学大学院
芸術工学研究院
教授
写真: 川本 聖哉



[審査員]
Hua Dong
英国ラフバラー大学
デザイン学
教授



[審査員]
加藤 公敬
公益財団法人
日本デザイン振興会
常務理事



[審査員]
Clare Brass
Department 22
ディレクター



[審査員]
永井 一史
株式会社 HAKUHODO DESIGN
代表取締役社長

詳細はこちらから <https://www.sdgs.design.kyushu-u.ac.jp/awards/>

